

浜田市金城歴史民俗資料館

(昭和53年11月3日開館)

この歴史民俗資料館は、国道186号線沿いの東側にある白壁の建物です。波佐地方は西中国山地の良質な真砂砂鉄と豊富な木炭資源に恵まれていたことから「たたら製鉄法」が古来行われてきました。鉄穴流し場、鉦所、鍛冶屋などの遺跡は50数箇所あります。

特に、この資料館は鍋瀧鉦、栃下鉦から銑鉄を製品とした「長割鉄」などを問屋へ出荷するまでの間、一時的に、この蔵に集荷していたことから「たたら蔵」と呼ばれていました。砂鉄や長割鉄を運搬するには、農家で飼育していた馬103頭がこれに携っていました。

200年前に建てられた、この蔵は所有者佐竹操氏から市が寄贈を受け文化財として永久に保存活用をはかるため「歴史民俗資料館」として改修した展示館です。

こうしたことから「二丁鞆鉦」の復元展示、たたら関係用具80点、たたら古文書2,500点、たたら製鉄品などを展示。また、この町に生まれた偉人、チベット巡礼探検家・能海寛の歴史資料3,000点、文豪・島村抱月関係資料50点、埋蔵文化財3,000点などの歴史資料1万点近くを収蔵・展示しています。

建築面積 68.85㎡ 床面積 137.7㎡

【常設展】

① 金城町の偉人展

〔能海 寛〕

チベット巡礼探検家。宗教哲学者。新仏教徒運動の提唱者。

明治元年5月18日浜田市金城町長田、真宗大谷派・浄蓮寺、能海法幢の次男として生れる。雅号を「石峰」と称した。哲学館（現在の東洋大学）卒。「チベット語大蔵経」を入手し英訳経典を世に出すため当時鎖国中のチベット領に入国する。中国大陸12,000kmを踏破し、聖地巡礼、仏典蒐集・翻訳、紀行文を書き残すなど成果を挙げた。著書『世界に於ける佛教徒』。翻訳「般若心経（梵・蔵・漢・英対訳）」ほか多数。『能海寛著作集』全15巻18冊が刊行されている。生家は、南方1Kmの所です。

この展示館では、能海寛が書き残した日記、紀行文、論文、往復書簡、写真をはじめとする請来した仏典・仏具・拓本・書籍類を中心に3,000点の中から逐次展示替えを行ない公開しています。

能海寛関係歴史資料（357点） 平成20.7.23 浜田市指定文化財

(指定理由) チベット巡礼探検家・能海寛が記述・将来した資料は、宗教、地理、政治、産業など他分野にかかわる貴重な資料で、当時の文化史・交流史の研究に寄与する学術価値が高い。

〔島村抱月〕

評論家・作家・演出家。明治4年1月10日金城町小国下土居に生れる。早大卒。早大教授。自然主義文学運動・新劇運動に貢献した。文芸協会を経て女優松井須磨子と芸術座を結成。海外を始め日本全国津々浦々をくまなく巡回し欧州近代劇の大衆化に尽力。著書『近代文芸之研究』など



二丁フイゴ鉦



能海 寛歴史資料



文豪・島村抱月資料

多数。抱月の生誕地説明資料、幼年期の資料を中心に生涯の業績をパネル展示しています。

※ 企画展を開催する場合は、展示を一部変更する場合があります。

② 石見地方のたたら製鉄と流通

古来より行われてきた石見地方のたたら製鉄に関連する、鉄穴流し、たたら製鉄、鍛冶屋などで使用していた用具類、古文書（大福帳）・鉄穴流し場絵図面、たたら場絵図。銑鉄の売買を記録した「売仕切証」によって江戸末、嘉永以降に山形県酒田・福岡県博多、熊本県高瀬など全国広域に石見の産鉄が流通したことを証明する古文書。鉄山不景気に付、石見各たたら場、鍛冶屋の賃金協定の議定書。たたら場、勘場を新設するに当たって陰陽八卦を占った文書。たたら歴史をわかり易いパネル展示で「野たたら」、「吹子たたら」、「二丁鞆たたら」、「天秤鞆たたら」と発展した課程を掲示しており、「たたら学習」に最適の資料館です。※パワーポイント映像による「ふるさと学習」も行っています。



たたら製鉄を4期に分けて説明



たたら場・鉄穴場の絵図



たたら関係大福帳とたたら文書

浜田市金城歴史民俗資料館

■所在地 浜田市金城町波佐イ 438

■入館料（別館の民俗資料館と共通券）

大人 300 円 団体 25 名以上 200 円

中・高・大学生 100 円（団体）60 円

小学生 60 円（団体）30 円

■開館 9 時～17 時

■休館日 国民の祝日・年末年始

※土・日曜日以外は、事前に電話予約が必要。

■予約連絡先 波佐公民館 TEL0855-44-0146

■アクセス 高速浜田道・浜田 IC から国道 186 線沿い 23Km

高速中国道・加計スマート IC から国道 186 号線沿い 40Km

【歴史資料収蔵品】

- 能海寛資料 3,000 点
- たたら製鉄用具 80 点
- 鉄穴流し用具 10 点
- 鍛冶屋用具 150 点
- 島村抱月資料 50 点
- たたら古文書 2,500 点
- 地方文書 500 点
- 考古資料 3,000 点収蔵

※ 金城民俗資料館は国道を挟んで対面です。

石峰&抱月のふるさと金城町『地域まるごとミュージアム』

地域全体を博物館に見立て、自然・歴史・文化・景観が一日中、楽しめる「学べるミュージアム」です。

- ① 浜田市金城民俗資料館（国・県指定有形民俗文化財を展示）。
- ② 浜田市金城歴史民俗資料館（市指定・歴史資料／能海寛関係資料、島村抱月資料、たたら関係資料、埋蔵文化財を展示）。
- ③ 常磐山八幡宮（佐々木高綱建立）／常磐の大杉（県指定天然記念物）／絵馬 16 面。みんなで守る郷土の自然地域／常磐のカシ林／遊歩道／的場。
- ④ チベット探検家・能海寛顕彰碑／ハクモクレン（市指定天然記念物）／浄蓮寺（総ケヤキ造り）。
- ⑤ 普明山永昌寺（尼子経久公の墓）／普明山の杉（市指定天然記念物）。
- ⑥ 亀遊山波佐一本松城跡（市指定史跡）／郭／堅敵形阻害／空堀／礫石置き場／水跳施設。
- ⑦ 笠松峠の畳石路（市指定史跡・全長 1,200m の畳石、記念碑、大芝、水の横がわ）。
- ⑧ 千年比丘一号墳（4 世紀前半の円墳・石見地方最古の古墳）。
- ⑨ 島村抱月生誕地顕彰の杜公園。
- ⑩ 桑田岩石園。
- ⑪ 光超寺の大イチョウ（市指定天然記念物）。

※ ボランティアガイド体制も整っています。（お問合せ先：携帯 TEL090-4697-2818）

浜田市金城民俗資料館

(昭和53年11月3日開館)

浜田市金城民俗資料館は西中国山地国定公園大佐山(1,069m)の西北麓に位置し、南北に長細い盆地の中央部、浜田市金城町波佐イ425-5番地に建設しています。

江戸時代は津和野藩に属し、元和3年(1617年)に波佐代官所が置かれ元禄4年(1691年)の改高により波佐組7カ村3,000石となりました。その時代において

「米紙上納」という言葉で示されるように、米と楮半紙の上納が定められ、波佐地方の全農家が紙漉きに携わっていました。資料館はこうした時代の背景となった農家の蔵を模して設計しています。ここに展示している有形民俗文化財(民俗資料)は「西中国山地民具を守る会」が収集し、石見地方山間部農村の生産・生活の特色を示す資料として体系的にまとめ国・県指定の民具3,000点を展示しています。

建築面積 197.6 m² 床面積 272 m²

【民俗資料収蔵品】

国指定重要有形民俗文化財

波佐の山村生産用具

(758点) 昭46.12.15 指定

1. 農具 244点
2. 山樵用具 110点
3. 紙漉き用具 110点
4. 紡織用具 152点
5. 運搬具 64点
6. 仕事着 78点

●家具 150点 ●屋根葺き用具 20点 ●装身具 60点 ●紺屋の型紙 500点 ●灯火用具 45点
●狩猟用具 20点 ●工匠用具 80点 ●その他 1,300点



浜田市金城民俗資料館



囲炉裏の間立体展示

高根県指定有形民俗文化財

波佐の山村生活用具

(221点) 昭47.7.28 指定

1. 食品製造貯蔵用具 41点
2. 食物調理調製用具 76点
3. 飲食用具 104点

※ この資料館では、民具を用いた作業状況の写真を沢山収蔵し、展示しています。



紙漉き用具(国指定)



仕事着(紙布製の衣服)



運搬具(牛・馬の荷籠)



調理・飲食用具(県指定)